

KLCP に参加して

経済学部 4年 釜石若菜

KLCP に参加して、韓国語を学ぶとともに韓国の文化や生活を経験することができました。3週間のプログラムの全体を通して感じたことは、「人」の存在です。

まず、今回滞在した大田は観光地ではないため、韓国語でのやりとりが必須でした。初めは不安でしたが、ほとんどの人が私たちのつたない韓国語も一生懸命聞き取ろうとしてくれて、分かりやすいように言い換えてくれたり、中にはあるタクシーの運転手さんが知っている日本語を一生懸命思い出そうとして、去り際には「ありがとう」と言ってくれたり、人の温かさを感じる場面が多かったです。また、飲食店では「どこから来たの?」と話しかけてくれて、時には料理や飲み物のサービスをしてくれたこともあり、大田は情に溢れた街だと感じました。



勉強の面では、独学で学んだことを論理的に学び直したいと思っていたので、全編韓国語での授業は毎時間が学びに溢れていてとても楽しかったです。表現ひとつでも言い換えや似た表現の使い分けまで学べて、語彙の幅を広げられました。言葉は相手がいこそだと学ぶことができたので、今後はより相手を意識した言葉選びをしたいと思いました。

KLCP ではサポートしてくれる韓国人や同じ大学の学生、他大学の学生とも共同での生活でした。3週間のほとんどの時間をともに過ごしたので、楽しいときも大変なときも気持ちを共有して助け合うことの大切さに改めて気づきました。遠く離れた場所に住む人と仲良くなれて嬉しかったですし、人間関係や交流の根本を考えるきっかけになりました。日本人同士であっても価値観が人それぞれで思い悩むこともあったので、国際交流を続けるために、今後もより韓国の文化や韓国語を勉強し続けたいと強く感じました。

